



三河地区自動車部品メーカー様



年計システムで売上・生産負荷予測 営業戦略・設備投資計画をサポート！

CASEといった自動車業界の再編により、自動車部品業界を取り巻く環境はますます厳しくなっております。EVの普及により駆動系部品の受注減少が見込まれる中で、受注部品の中長期的な売上予測を確実にし、戦略的な受注活動や設備投資の判断を的確に行っていくことは、これからの自動車部品メーカーにおいて非常に重要です。

自動車部品メーカーでは、自動車メーカーが需要予測を行った中長期的な車両生産計画データが送られます。三河地区自動車部品メーカー様では、このデータを活用して部品表を構成展開し年間の売上の予測、生産負荷の予測を可能にしました。この結果をもとに戦略的な営業活動や中長期的な設備投資の立案につなげました。

システム概要

『年計システム』

得意先から受領する「品番データ」、「諸元データ」、「車両生産計画データ」をもとに出荷品番別年計データ(営業年計)と出荷品番を構成展開して構成部品別年計データ(生管年計)を作成します。

①営業年計

「品番データ」×「諸元データ」、「諸元データ」×「車両生産計画データ」の2種類の引当を行い、品番データごとに車両生産計画データを引当てた出荷品番別年計データを作成します。年間の売上予測を可能に戦略的な営業戦略をサポートします！

②生管年計

生管年計業務は、自社の部品表情報をもとに出荷品番別年計データを構成展開して構成部品別年計データを作成します。さらに構成部品に紐づく金型・設備の使用率を把握して年間の設備負荷率を把握し、設備投資計画をサポートします！

